

平成27年3月11日
大臣官房 技術調査課
総合政策局
公共事業企画調整課

国土交通省土木工事積算基準等の改定について

公共工事の積算にあたっては、標準的な工事価格が算定できるよう実態調査を行い、その結果を反映した各種積算基準を整備しています。

今回、公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律（以下「改正品確法」という。）の基本理念及び発注者責務を果たすため、担い手の中長期的な育成・確保のための適正な利潤が確保できるよう、適切に作成された仕様書及び設計書に基づき、経済社会情勢の変化を勘案し、市場における労務・資材等の取引価格、施工の実態等を的確に反映した予定価格を適正に設定するため土木工事積算基準の改定を行うこととしました。

土木工事積算基準については、「補強土壁工（大型長方形壁面材）」と「連続鉄筋コンクリート舗装工」の2工種を新規歩掛の制定、小規模施工の実態を反映した維持修繕用歩掛の改定、「一般管理費等率及び現場管理費率の改定」、「市街地（DID）補正の改定」、「施工パッケージ型積算方式の拡充」等を行います。

また、土木設計業務等の積算基準について、実態調査の結果を踏まえ改定を行うとともに、土木工事共通仕様書（案）、土木設計業務等共通仕様書（案）、測量業務共通仕様書（案）及び地質・土質調査業務共通仕様書（案）について、各種基準類の改定等を踏まえ一部改定を行います。

(問い合わせ先)	03-5253-8111 (代表)
大臣官房技術調査課	
(担当) 全般	事業評価・保全企画官 久保 宜之
	(内線22353) 直通03-5253-8221
	FAX 03-5253-1536
(担当) 設計業務等の積算基準・共通仕様書関係	課長補佐 神鳥 博俊
	(内線22352) 直通03-5253-8221
	FAX 03-5253-1536
総合政策局公共事業企画調整課	
(担当) 標準歩掛・機械等損料関係	課長補佐 鹿毛 英樹
	(内線24953) 直通03-5253-8286
	FAX 03-5253-1556

改定概要

1. 土木工事標準歩掛^{ぶがかり}の改定

土木工事標準歩掛^{ぶがかり}は、標準的な施工条件における単位施工量当り若しくは日当りの労務工数、材料数量、機械運転時間等の所要量について工種毎にとりまとめたものです。

今回、「補強土壁工（大型長方形壁面材）」「連続鉄筋コンクリート舗装工」の2工種を新たに制定します。

また、維持修繕に関する歩掛のうち「道路打換え工」「欠損部補修工」の2工種について、施工量の少ない現場の実態を反映した小規模施工歩掛の追加を行います。

その他、施工実態を反映した日当り施工量、労務、資機材等の改定を5工種行います。

2. 一般管理費等率及び現場管理費率の改定

適正な利潤及び人材育成・確保に係る費用を適切に積算基準に反映し、適正な予定価格を設定するため、一般管理費等率及び現場管理費率を改定します。

3. 市街地（D I D）補正の改定

最新の実態調査結果に基づき、市街地（D I D）の補正係数を改定します。

- ・対象地域：市街地（D I D） ※大都市以外
- ・対象工種：鋼橋架設工事、電線共同溝工事、道路維持工事、舗装工事
- ・補正方法：共通仮設費1.3倍、現場管理費1.1倍

4. 施工パッケージ型積算方式の拡充

施工パッケージ型積算方式については、平成24年10月1日以降試行を開始し、平成25年10月1日から拡充を行い、平成27年4月1日時点で208施工パッケージを導入しているところです。導入済みの施工パッケージについて、施工調査に基づき、17施工パッケージを改定するとともに、資材、労務、機械経費の物価変動に伴う標準単価および機労材構成比の改定を行います。改定後の単価は、「平成27年度 施工パッケージ型積算方式標準単価表」「平成27年度 東日本大震災の被災地で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」として、国土技術政策総合研究所HPに掲載します。

(http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm)

また、平成27年10月1日以降に入札書提出期限日となる工事から、111施工パッケージを追加導入します。これに伴い、施工パッケージ型積算基準についても拡充し、国土交通省HPに掲載します。

(<http://www.mlit.go.jp/tec/sekisan/sekkei.html>)

5. その他（共通仕様書（案）・土木設計業務等の積算基準の改正）

土木設計業務等の積算基準について、実態調査の結果を踏まえ改定を行うとともに、土木工事共通仕様書（案）、土木設計業務等共通仕様書（案）、測量業務共通仕様書（案）及び地質・土質調査業務共通仕様書（案）について、各種基準類の改定等を踏まえ一部改定を行います。

平成27年度 土木工事積算基準 改定概要

大臣官房 技術調査課
総合政策局 公共事業企画調整課

国土交通省

■主な改定のポイント

改正品確法(H26.6.4公布・施行)の基本理念および発注者責務を果たすため、担い手の中長期的な育成・確保のための適正な利潤が確保できるよう、市場における労務、資材等の取引価格、施工の実態等を的確に反映した予定価格を適正に設定するため土木工事積算基準の改定を行う。

1. 土木工事標準歩掛の改定

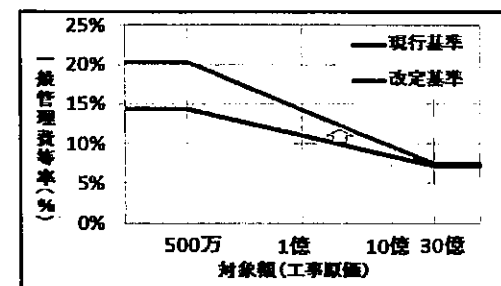
- ・歩掛の新規制定(2工種)
- ・維持修繕関係歩掛に小規模施工歩掛を追加(2工種)
- ・施工実態を踏まえた歩掛の改定(5工種)



新規制定工種(連続鉄筋コンクリート舗装工)

2. 一般管理費等率及び現場管理費率の改定

- ・適正な利潤及び人材育成・確保に係る費用を適切に積算基準に反映し、適正な予定価格を設定するため、一般管理費等率及び現場管理費率を改定



3. 市街地(DID)補正の改定

- ・最新の実態調査結果に基づき、市街地(DID)の補正係数を改定
 - 対象地域：市街地(DID) ※大都市以外
 - 対象工種：鋼橋架設工事、電線共同溝工事、道路維持工事、舗装工事
 - 補正方法：共通仮設費1.3倍、現場管理費1.1倍

4. 施工パッケージ型積算方式の拡充

- 積算業務の効率化のため、平成24年10月から試行導入【平成27年4月1日時点】
 - ・208施工パッケージを導入済み
 - ・施工調査に基づき、17施工パッケージを改定(小規模・人力工事や維持工事等)
- 【平成27年10月1日以降】
 - ・111施工パッケージを追加導入開始
 - ⇒ 合計319施工パッケージ

1. 標準歩掛の新設・見直し

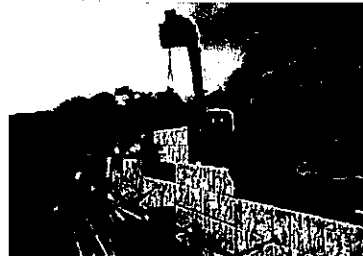
- ① (1)歩掛(2工種)を新たに制定。(補強土壁工(大型長方形壁面材)、連続鉄筋コンクリート舗装工)
- ② (2)維持修繕用の歩掛に小規模施工歩掛を追加する改定を2工種で実施。(道路打換え工、欠損部補修工)
- ③ 現場実態を踏まえた日当り施工量、労務、資機材等の改定を5工種で実施。(補強土壁工、締切排水工、コンクリート工(砂防)、コンクリート舗装工、トンネル濁水処理工)

(歩掛の詳細はhttp://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000024.html参照)

(1) 新規制定工種

【補強土壁工(大型長方形壁面材)】

- ・盛土の中に敷設した補強材の摩擦力とコンクリート製のプレキャスト壁面材によって、擁壁を自立させる工法
- ・従来の壁面材より大型の長方形壁面材を使用した歩掛を制定



【連続鉄筋コンクリート舗装工】

- ・縦横方向に連結した鉄筋を配筋し、横目地を設けないコンクリート舗装工
- ・スリップフォームペーバにて、1層敷均し・1層締固めを行う工法の歩掛を制定



(2) 維持修繕用の歩掛の見直し

【道路打換え工】

- ・維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから、路盤及び路床土の掘削・積込み、新規路盤工、舗装工までを急速施工する現道打換え工事
- ・施工量が少ない場合の小規模施工歩掛を追加



舗装版破碎作業

【欠損部補修工】

- ・道路の舗装面に生じたポットホール、くぼみ、段差、局部的なひび割れなどの欠損部に対して、舗装材料を舗装して締め固める補修作業
- ・施工量が少ない場合の小規模施工歩掛を追加

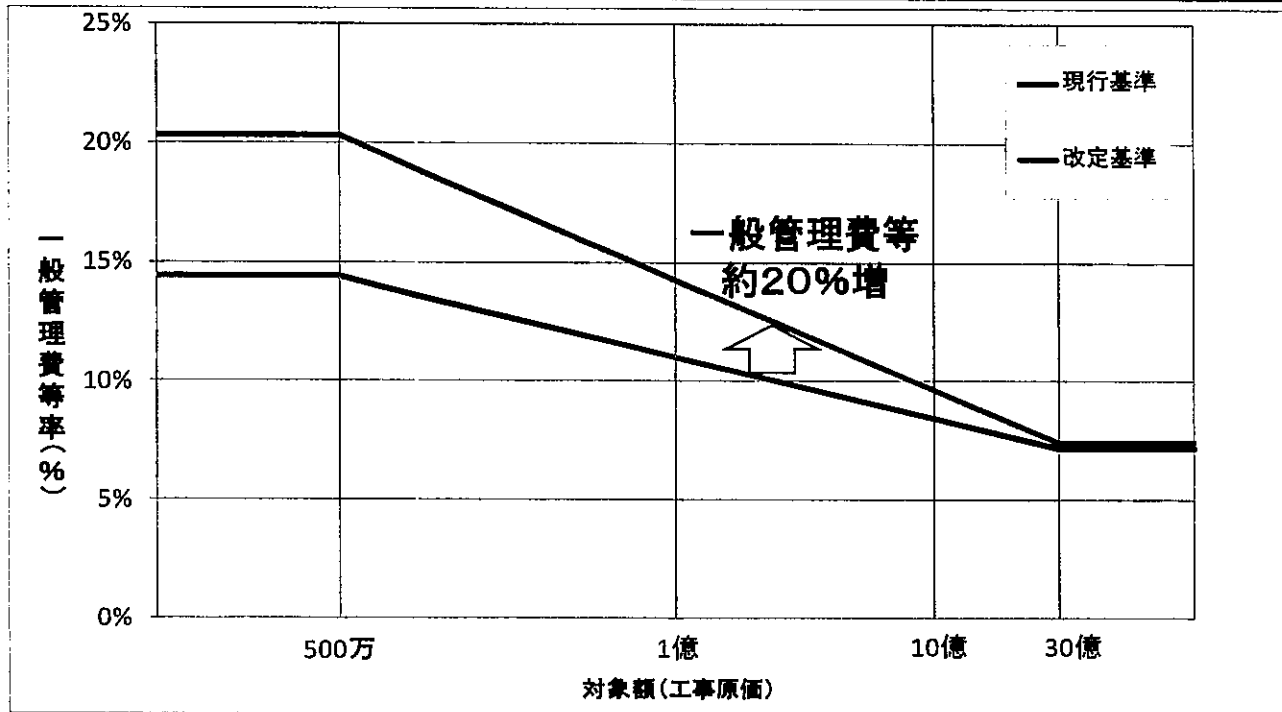


舗装版舗設作業

◆標準歩掛の改定は、平成27年度の土木工事積算基準から適用する。

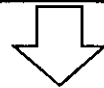
2-1. 一般管理費等率の改定

人材育成・確保等の必要性を踏まえた適正な利潤を確保するため、一般管理費等率を改定する。



現 行

工事原価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの
一般管理費等率	14.38%	$-2.57651 \times \text{LOG}(C_p) + 31.63531(\%)$ $C_p = \text{工事原価(単位円)}$	7.22%



改 定

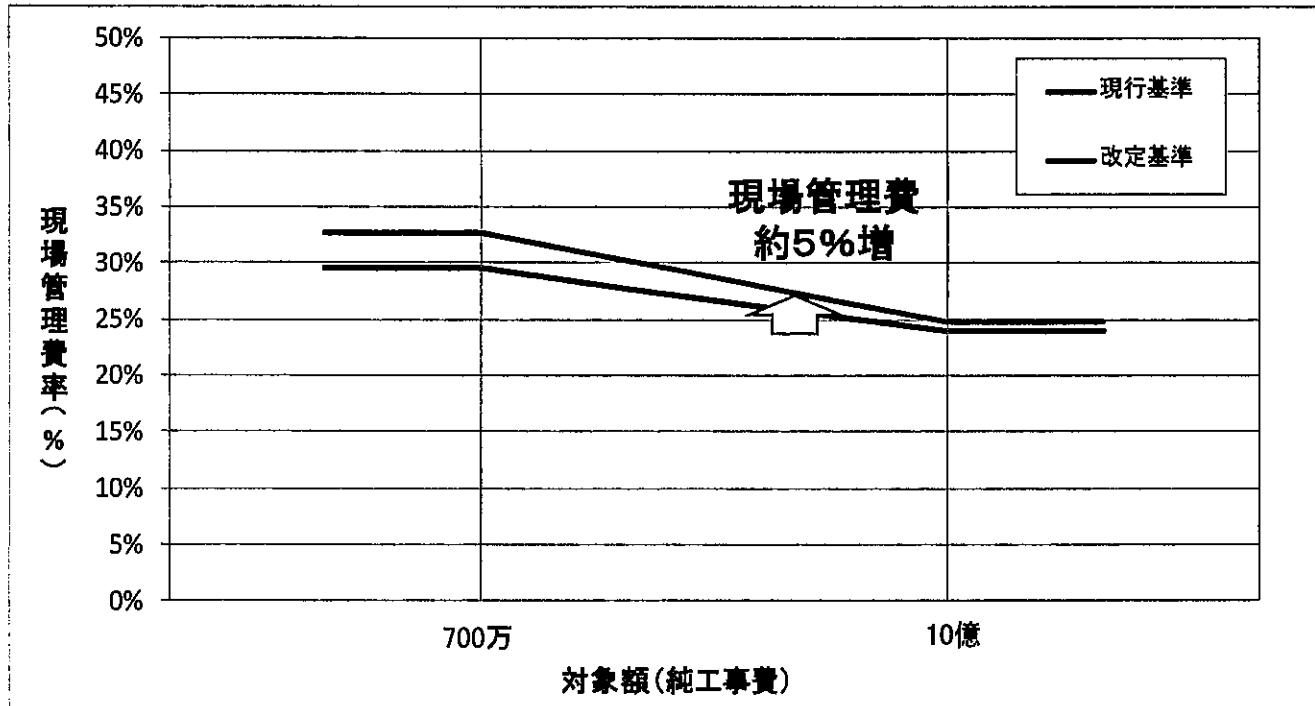
工事原価	500万円以下	500万円を超え30億円以下	30億円を超えるもの
一般管理費等率	20.29%	$-4.63586 \times \text{LOG}(C_p) + 51.34242(\%)$ $C_p = \text{工事原価(単位円)}$	7.41%

◆一般管理費等率の改定は、平成27年度の土木工事積算基準から適用する。

2-2. 現場管理費率の改定

一般管理費等率の改定に伴い、現場管理費の外注経費(外注する際の一般管理費等)についても合わせて改定する。

〔道路改良工事
の例〕



現 行

純工事費	700万円以下	700万円を超え10億円以下	10億円を超えるもの
現場管理費率	29.53%	$J_o = 57.8 \times N_p^{-0.0426}$ (%) $N_p = \text{純工事費(単位円)}$	23.91%

改 定

純工事費	700万円以下	700万円を超え10億円以下	10億円を超えるもの
現場管理費率	32.73%	$J_o = 80.0 \times N_p^{-0.0567}$ (%) $N_p = \text{純工事費(単位円)}$	24.71%

◆現場管理費率の改定は、平成27年度の土木工事積算基準から適用する。

3. 間接工事費の市街地(DID)補正の改定

改定内容

市街地では、住宅密集地での安全管理等の費用がかかり、仮置きヤード等の確保が困難なため費用がかさむ傾向がある。最新の実態調査結果に基づき、市街地(DID)の補正係数を改定する。

⇒ 大都市以外の市街地(DID)における工事については、
共通仮設費を1.3倍、現場管理費を1.1倍とする補正を行うこととする。

補正対象工種：鋼橋架設工事、電線共同溝工事、道路維持工事、舗装工事

補正対象地域	補正対象工種	補正方法【現行】		補正方法【改定】		名称
		共通仮設費	現場管理費	共通仮設費	現場管理費	
市街地(DID)	鋼橋架設工事 電線共同溝工事 道路維持工事 舗装工事	現行の率に 2.0% 加算	現行の率に 1.5% 加算	最新の率を 1.3倍	最新の率を 1.1倍	市街地補正
【参考】 大都市		現行の率を 1.5倍	現行の率を 1.2倍	最新の率を 1.5倍	最新の率を 1.2倍	大都市補正

※大都市：札幌市、仙台市、東京特別区、八王子市、さいたま市、川口市、草加市、千葉市、市川市、船橋市、習志野市、浦安市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、名古屋市、静岡市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、広島市、北九州市、福岡市の市街地(アンダーライン:東京特別区、政令市)

◆市街地(DID)補正の改定は、平成27年度の土木工事積算基準から適用する。

4-1. 導入済み施工パッケージの改定

○施工調査に基づき、小規模・人カ工事や維持工事を中心に施工パッケージを改定(17施工パッケージ)

工 種 名	施工パッケージ名
土の敷均し締固め工	路体(築堤)盛土 路床盛土
小規模土工	掘削 積込(ルーズ) 舗装版破碎積込(小規模土工) 床掘り 埋戻し
人カ土工	掘削 人カ積込 床掘り 埋戻し ベルトコンベヤ併用人カ掘削(床掘) ベルトコンベヤ併用人カ積込
現場打擁壁工	小型擁壁(A) 小型擁壁(B)
アンカー工 (ロータリーパーカッション式)	アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー) グラウト注入(アンカー) ボーリングマシン移設(アンカー) 足場工(アンカー)
構造物とりこわし工	コンクリートはつり

◆施工パッケージの改定は、平成27年度の土木工事積算基準から適用する。

4-2. 追加導入する施工パッケージ(1/2)

○施工パッケージ一覧(平成27年10月1日以降入札書提出期限日の工事から適用)

分類	No	パッケージ名称
共通工	1	プレキャストコンクリート板
	2	プレキャストコンクリート板(材料費)
	3	ジョイント処理
	4	ジョイント金物(材料費)
	5	石積(練石)(複合)
	6	石張(複合)
	7	石積(張)
	8	石積(張)(材料費)
	9	胴込・裏込コンクリート
	10	裏込材(クラッシュラン)
	11	コンクリート(場所打擁壁)
	12	ジオテキスタイル壁面材組立・設置
	13	ジオテキスタイル壁面材(材料費)
	14	ジオテキスタイル(材料費)
	15	ジオテキスタイル敷設・まき出し・敷均し・締固め
	16	発泡スチロール設置
	17	発泡スチロール(材料費)
	18	緊結金具(材料費)
	19	コンクリート床版
	20	支柱結合アンカー(材料費)
	21	支柱設置
	22	支柱(材料費)
	23	壁面材設置
	24	壁面材(材料費)
	25	裏込碎石(軽量盛土工)
	26	コンクリート(場所打函渠)
コンクリート工	27	型枠(鉄筋構造)[省力化構造]
河川海岸	28	捨石

分類	No	パッケージ名称	
河川海岸	29	捨石(材料費)	
	30	表面均し	
河川維持工	31	不陸整正・締固め	
	32	抜根	
	33	施肥	
	34	伐木・伐竹(伐木除根)	
	35	除根(伐木除根)	
	36	整地(伐木除根)	
	37	集積積込み(機械施工)(伐木除根)	
	38	集積(人力施工)(伐木除根)	
	39	積込み(人力施工)(伐木除根)	
	40	運搬(伐木除根)	
	41	伐木・伐竹(複合)	
	42	注入	
	43	削孔	
	44	注入設備据付・解体	
	45	グラウトホール	
	46	グラウト管(材料費)	
	地すべり防止工	47	ボーリング
		48	保孔管
		49	ボーリング仮設機材
50		足場(地表)	
付属施設	51	防雪柵	
	52	防雪柵(材料費)	
	53	防雪柵現地張出し・収納	
	54	雪崩予防柵	
	55	雪崩予防柵(材料費)	
	56	吊柵アンカー	

4-2. 追加導入する施工パッケージ(2/2)

○施工パッケージ一覧(平成27年10月1日以降入札書提出期限日の工事から適用)

分類	No	パッケージ名称
付属施設	57	パイプアンカー(材料費)
	58	樹脂アンカー(材料費)
	59	簡易ケーブルクレーン(1t吊)設置・撤去
	60	ボックスビーム
	61	落下物等防止柵
	62	落下物等防止柵(材料費)
	63	スノーポール設置撤去
	64	スノーポール(材料費)
道路維持修繕工	65	張紙防止塗装
	66	張紙防止塗装(材料費)
	67	鋼板巻立て(材料費)
	68	スタットジベル(材料費)
	69	鋼板巻立て
	70	シール材(材料費) ※橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)
	71	注入材(材料費) ※橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)
	72	現場溶接
	73	フーチングアンカー削孔・定着
	74	アンカー筋(材料費)
	75	アンカー注入材(材料費)
	76	鋼板取付
	77	シール材(材料費) ※橋梁補強工(鋼板巻立て)(2)
	78	注入材(材料費) ※橋梁補強工(鋼板巻立て)(2)
	79	コンクリート削孔
	80	コンクリート巻立て
	81	足場(適用範囲外コンクリート巻立て工)
	82	下地処理(適用範囲外コンクリート巻立て工)
	83	型枠(適用範囲外コンクリート巻立て工)
	84	コンクリート(適用範囲外コンクリート巻立て工)

分類	No	パッケージ名称
道路維持修繕工	85	支承取替(鋼橋)
	86	支承取替(PC橋)
	87	支承(材料費)
	88	足場
	89	コンクリート削孔(コアボーリングマシン)
	90	コンクリート削孔(ハンマドリル)
	91	コンクリート削孔(さく岩機(ハンドハンマ))
	92	アンカー
	93	アンカー材(材料費)
	94	注入材(材料費) ※落橋防止装置工
	95	充填補修
	96	補修材(材料費)
	97	視線誘導標清掃
	98	樹清掃(人力清掃工)
	99	チッピング(厚1-2cm)
	100	アンカーボルト挿入
	101	アンカーボルト(材料費)
	102	注入材(材料費) ※沓座拡幅工
	103	桁連結装置(材料費)
	104	芯出し素地調整
105	現場孔明	
106	連結板取付	
107	現場溶接	
108	ボルト締	
109	路肩整正(人力による土はね)	
橋梁工	110	型枠(鋼橋床版)
	111	養生(鋼橋床版)